

平成27年度の秋田空港利用状況について

1. 概要

平成27年度の秋田空港の利用者数は、1,218,364人で前年度より25,915人増加し、前年度比102.2%、搭乗率は63.9%であった。利用者数が120万人を上回ったのは、平成19年度以来8年ぶりである。

国内線の利用者数は、1,203,399人で前年度より30,078人増加し、前年度比102.6%、搭乗率は63.9%であった。また、国際線の利用者数は、14,965人で前年度より4,163人減少し、前年度比78.2%、搭乗率は60.3%であった。

2. 路線別の動向

①東京羽田線

利用者数は、850,523人で前年度より22,106人増加し、前年度比102.7%、搭乗率は65.2%であった。一部使用機材の小型化があったものの、個人旅行の利用が年間を通じて好調に推移したことや年度後半での団体の旅行利用などが比較的堅調に推移したことにより、前年度を上回った。

②名古屋中部線

利用者数は、64,193人で前年度より490人減少し、前年度比99.2%、搭乗率は59.0%であった。午前中の便の出発時間が早まり利便性が高まったことや年度後半での団体などの旅行利用が増加したことにより、前年度並みの結果となった。

③札幌千歳線

利用者数は、105,396人で前年度より3,154人増加し、前年度比103.1%、搭乗率は53.8%であった。10月下旬から1日1往復の減便があったものの、年間を通して個人旅行の利用が好調に推移したことにより、前年度を上回った。

④大阪伊丹線

利用者数は、183,287人で前年度より5,308人増加し、前年度比103.0%、搭乗率は67.2%であった。夜間駐機による利便性の向上がビジネス客などの利用者に受け入れられていることや春、秋の関西方面への旅行利用が増加したことにより、前年度を上回った。

⑤ソウル仁川線（国際線）

利用者数は、14,965人で前年度より4,163人減少し、前年度比78.2%、搭乗率は60.3%であった。このうち、日本人搭乗客は3,945人で2,661人減少し、前年度比59.7%、韓国人搭乗客は10,125人で999人減少し、前年度比91.0%であった。

これは、8月1日と3日を除く6月29日から8月31日までの運休及び12月3日から現在も続いている運休の影響により前年度を下回ったものとみられる。

3. 貨物の動向

貨物の取扱数量は、入荷数量が851.0t、出荷数量が821.8t、合計で1,672.9tであった。入荷数量が101.9t、出荷数量が234.3t、合計で336.2tそれぞれ減少した。入荷の主な品目は、精密機器や工業部品等で、出荷の主な品目は山菜や弁当等の食品類及び工業用部品他であった。

※小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

4. チャーター便の動向

チャーター便は、国際便の秋田－台北間が35便、秋田－仁川間が2便で、国内便の運航はなかった。

利用者数は5,855人で前年度より1,353人減少し、搭乗率は94.0%であった。

平成27年度 秋田空港利用状況

1. 定期路線

路線名	平成27年度						平成26年度						利用者数 増 減	利用者数 対前年比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航	欠航率			予定	実績	欠航	欠航率				
東京羽田線 (ANA)	3,660	3,640	20	0.5%	542,775	65.9%	3,650	3,616	34	0.9%	541,510	62.2%	1,265	100.2%
東京羽田線 (JAL)	2,928	2,914	14	0.5%	307,748	64.0%	2,920	2,879	41	1.4%	286,907	60.4%	20,841	107.3%
東京羽田線 (計)	6,588	6,554	34	0.5%	850,523	65.2%	6,570	6,495	75	1.1%	828,417	61.5%	22,106	102.7%
名古屋中部線 (ANA)	1,486	1,471	15	1.0%	64,193	59.0%	1,460	1,443	17	1.2%	64,683	60.6%	△ 490	99.2%
札幌千歳便 (ANA)	1,464	1,430	34	2.3%	52,001	49.1%	1,460	1,407	53	3.6%	47,234	45.4%	4,767	110.1%
札幌千歳便 (JAL)	1,878	1,788	90	4.8%	53,395	59.4%	2,046	1,982	64	3.1%	55,008	55.2%	△ 1,613	97.1%
札幌千歳線 (計)	3,342	3,218	124	3.7%	105,396	53.8%	3,506	3,389	117	3.3%	102,242	50.2%	3,154	103.1%
大阪伊丹線 (ANA)	2,196	2,167	29	1.3%	104,007	64.9%	2,252	2,216	36	1.6%	100,001	61.0%	4,006	104.0%
大阪伊丹線 (JAL)	2,196	2,152	44	2.0%	79,280	70.5%	2,190	2,140	50	2.3%	77,978	68.6%	1,302	101.7%
大阪伊丹線 (計)	4,392	4,319	73	1.7%	183,287	67.2%	4,442	4,356	86	1.9%	177,979	64.1%	5,308	103.0%
国内線計	15,808	15,562	246	1.6%	1,203,399	63.9%	15,978	15,683	295	1.8%	1,173,321	60.7%	30,078	102.6%
ソウル仁川線 (KAL)	158	158	0	0.0%	14,965	60.3%	232	232	0	0.0%	19,128	52.5%	△ 4,163	78.2%
全線合計	15,966	15,720	246	1.5%	1,218,364	63.9%	16,210	15,915	295	1.8%	1,192,449	60.5%	25,915	102.2%

定期便

路線名	平成27年度						平成26年度						利用者数 増 減	利用者数 対前年比
	運航回数				利用者数	搭乗率	運航回数				利用者数	搭乗率		
	予定	実績	欠航	欠航率			予定	実績	欠航	欠航率				
東京便	6,588	6,554	34	0.5%	850,523	65.2%	6,570	6,495	75	1.1%	828,417	61.5%	22,106	102.7%
名古屋便	1,486	1,471	15	1.0%	64,193	59.0%	1,460	1,443	17	1.2%	64,683	60.6%	△ 490	99.2%
札幌便	3,342	3,218	124	3.7%	105,396	53.8%	3,506	3,389	117	3.3%	102,242	50.2%	3,154	103.1%
大阪便	4,392	4,319	73	1.7%	183,287	67.2%	4,442	4,356	86	1.9%	177,979	64.1%	5,308	103.0%
国内線計	15,808	15,562	246	1.6%	1,203,399	63.9%	15,978	15,683	295	1.8%	1,173,321	60.7%	30,078	102.6%
ソウル便	158	158	0	0.0%	14,965	60.3%	232	232	0	0.0%	19,128	52.5%	△ 4,163	78.2%
全便合計	15,966	15,720	246	1.5%	1,218,364	63.9%	16,210	15,915	295	1.8%	1,192,449	60.5%	25,915	102.2%

2. 貨物取扱量(t)

便全体	平成27年度	平成26年度	増減
貨物入荷	851.0	953.0	△ 101.9
貨物出荷	821.8	1,056.1	△ 234.3
計	1,672.9	2,009.1	△ 336.2

うち国際線分	平成27年度	平成26年度	増減
貨物入荷	2.5	3.1	△ 0.6
貨物出荷	0.5	0.0	0.5
計	3.0	3.1	△ 0.1

※ 小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

3. 郵便取扱量(t)

郵便	平成27年度	平成26年度	増減
郵便	453.8	439.5	14.3

4. チャーター便利用状況(便、人、%)

	平成27年度	平成26年度	便数 増 減	平成27年度	平成26年度	利用者数 増 減	平成27年度	平成26年度
	便数	便数		利用者数	利用者数		搭乗率	搭乗率
国内	0	3	△ 3	0	143	△ 143	***	63.0
国際	37	45	△ 8	5,855	7,065	△ 1,210	94.0	89.5
合計	37	48	△ 11	5,855	7,208	△ 1,353	94.0	88.7